

虚血性脳血管障害に対するアセタゾラミド静脈内投与の安全性

1. 研究の対象

2012年6月から2014年6月までにアセタゾラミド負荷脳血流 SPECT を実施され、片側の中大脳動脈水平部もしくは内頸動脈に高度狭窄もしくは閉塞を有していた初回時 SPECT 検査症例

2. 研究目的・方法

脳動脈病変合併例におけるアセタゾラミド負荷脳血流 SPECT 後の副作用について、その予測因子を調査する

3. 研究に用いる試料・情報の種類

性別、年齢、既往歴（高血圧、糖尿病、脂質異常症、虚血性脳血管障害）、薬剤使用歴（抗血小板剤、および血管拡張作用のある薬剤として Ca 拮抗薬、シロスタゾール、リマプロスト、サルポグラレート、硝酸薬）、虚血性脳血管障害の既往のある症例では最終発作から 3 週間以内の検査実施であったかどうか 1)、検査前後の血圧、脈拍数 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

済生会熊本病院

電話：096-351-8000(代)

研究責任者：神経内科 永沼 雅基

以上